

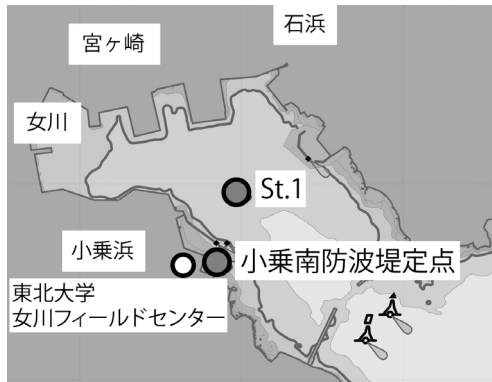
週刊 女川湾海況速報 (No.47)

発行：東北大学女川フィールドセンター

東北大学マリンサイエンス復興支援室

6 月 10 日から 14 日の小乗南防波堤定点と St.1 の海洋観測情報

観測点



小乗南防波堤定点の結果

①水温・塩分：先週と比較して全層で水温は上昇したが、塩分は下降傾向。経時的には水温が 13 日に表層 (0m) で上昇したが、底層 (5m) では下降。表層の塩分は期間を通じて 32PSU 以下の低い値で推移した。一方、底層では 13 日に上昇し、それ以降は 32PSU 台を示した。

水深 [m]	6月10日 (月)	6月11日 (火)	6月12日 (水)	6月13日 (木)	6月14日 (金)
0	17.1 (31.8)	16.9 (31.9)	16.8 (31.9)	17.4 (31.7)	17.5 (31.9)
5	14.2 (32.2)	15.6 (32.0)	16.5 (31.9)	12.3 (32.7)	12.4 (32.7)

水温の単位は℃。カッコ内の塩分の単位は PSU (実用塩分単位)。*14 日は水深 6m のデータを使用。

②濁度：先週と比較して全層で上昇。表層では 13 日以降に 1FTU 以下を示したが、底層では期間を通じて 1FTU 以上を維持。

水深 [m]	6月10日 (月)	6月11日 (火)	6月12日 (水)	6月13日 (木)	6月14日 (金)
0	1.3	1.1	1.7	0.8	0.6
5	1.8	1.0	1.2	1.3	1.1

(単位は FTU)

③溶存酸素：先週と比較して全層で下降したが、7~8mg/l 台を示した。経時的には 13 日に表層で下降し、それ以降は 7.4mg/l を維持。一方、底層では 13 日に上昇し、それ以降は 8.8mg/l を維持。

水深 [m]	6月10日 (月)	6月11日 (火)	6月12日 (水)	6月13日 (木)	6月14日 (金)
0	7.5	7.8	7.8	7.4	7.4
5	8.4	8.2	7.9	8.8	8.8

単位は mg/l。水産用水基準 (水産動植物が正常に生息および繁殖ができる値) : 4.3mg/l 以上。

St.1 の結果

水温、塩分はそれぞれ 9.9~16.9℃、31.8~33.2PSU の範囲にあり、水深 5m 以浅では 32PSU 以下の低塩分水が出現した。濁度は 1.0~3.8FTU の範囲にあり、底層 (19m) で最大。溶存酸素は 7.7~9.9mg/l の範囲にあり、表層付近で最小。

6 月 12 日

水深 [m]	水温 [℃]	塩分 [PSU]	濁度 [FTU]	溶存酸素 [mg/l]
0	16.9	31.8	1.0	7.7
5	16.7	31.9	1.0	7.7
10	12.9	32.5	1.3	8.6
15	10.7	33.0	2.3	9.6
19	9.9	33.2	3.8	9.9

本データの利用については、東北大学マリンサイエンス復興支援室

Tel.: 022-717-8827

Fax: 022-717-8828

E-mail:

agr-marin@bureau.tohoku.ac.jp

までお問い合わせください。